

# 平成27年度事業報告及び収支決算について

(第32年度)

平成27年4月1日から

平成28年3月31日まで

## I 公一1 森林、林業の啓発と緑化事業

森林やみどりは、地球温暖化の防止、局地的豪雨の頻発等に対応した山地災害の防止、生物多様性や景観の保全、環境教育や森林セラピー等による健康づくりの場としての利用、緑豊かで潤いのある日常生活環境の確保など多様な機能を持っており、国民が安全で安心して暮らすことのできるようそれら機能を十分に発揮し得る森林・みどりづくりが求められています。

健全な森林づくり、森林・林業の再生、緑豊かな生活環境づくり等について、県民に正しく理解してもらい、参加を促すための様々な取り組みが必要です。

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「長野県森林づくり指針」に沿って、行政、NPO、地域住民との様々な形での協働を通じて多くの県民の参加を得ながら、地域の実情やニーズにあった森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動に重点をおいて事業の推進に努めました。

平成28年に本県で開催する第67回全国植樹祭の基本計画の開催理念を達成するため、県と共同して緑化の推進を図りました。

### 1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施した。

#### (1) 情報誌の発行等

##### ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4月の緑化シーズンに併せてグリーンキャンペーンを行うほか、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行う。また、企業のショーウィンドウを借用して、PRポスターなどを掲示した。

##### イ 緑の情報サービスの推進（ホームページによる情報発信）

当基金が関わる各種行事、巨樹・古木や森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進した。

##### ウ 森と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて、思いを深めることができるように、千曲川上流の川上村を対象に調査し、原案を作成し、絵本「森のくまさん」を刊行した。

・絵本は2000部を発刊し、県内の小学校、特別支援学校に配布した。

## 2 県民の集い等の開催

### (1) ふるさとの森づくり県民の集い（第66回長野県植樹祭）の開催

5月30日（土）、大田市において、長野県、中部森林管理局等と共催して、一般県民約1,400人の参加のもと、「第67回全国植樹祭プレイベント」として、ふるさとの森づくり県民の集い（第66回長野県植樹祭）を実施した。

### (2) 森林教室の開催

県植樹祭に併せ、一般県民90人程が参加し、白銀に輝く北アルプスの眺望を楽しみながら、長野県森林インストラクター会等の方々による説明を聴き、森林・林業に関する理解を深かめた。

### (3) 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催

緑と水の森林ファンド事業（（公社）国土緑化推進機構）の助成を受け、地区緑化推進団体の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹など体験型の行事等を実施した。

## 3 講演会の開催等

### (1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施設を利用して、定期的に、森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを開催した。

### (2) 森林フォーラム

林業等により地域再生に成功しているオーストリアの取組みを知るため、「森林フォーラム」として、「オーストリア森林フォーラムIN長野」を長野県、林業関係団体等と共催して実施した。

### (3) 野鳥愛護思想の啓発

小・中学校を対象に、児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など、野鳥愛護の実践活動を行う小中学校5校に対して信州の緑と野鳥を守る会を通じて助成した。

## 4 森林づくり等実践参加の促進

### (1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加を促進した。

#### ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰や小・中学校、高等学

校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールを長野県、林業関係団体と共催で実施した。(表彰式 1月15日)

- ・ふるさとの森林づくり賞 長野県緑の基金理事長賞 2団体
- ・林業関係ポスター等コンクール 長野県緑の基金理事長賞 22名

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割を学び木の文化を大切に作る心を育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施した。(表彰式 10月23日)

- ・木工工作コンクール 長野県緑の基金理事長賞 1名

(2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に10月27日長野市錬成センターで開催し、それらの習得を支援した。

(3) 学校林の整備・活用

ア みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業普及指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備等を行う団体に助成した。

- ・岡谷市立神明小学校他 13校

イ 学校林等の整備

学校林活動の普及促進と森林環境教育の充実が図られるよう、国土緑化推進機構の助成を受け、学校林等の整備を行い青少年の森林体験活動の場と機会を確保した。

- 事業名 学校林を活用した森林環境教育促進事業
- 千栄小炭作り応援隊
- 伊那西小学校PTA

5 都市緑化等の環境整備

(1) 公園等公共施設の緑化

ゴルフ場の協力を得た(公社)ゴルフ緑化促進会の緑化協力金を受けて、公共施設の緑化を実施した。

| 区 分     | 地 区 | 事業主体 | 実施場所・樹種              |
|---------|-----|------|----------------------|
| 第75・76回 | 佐 久 | 軽井沢町 | 観光センター<br>ドウダンツツジ 4㎡ |

(2) 小中学校敷地内の緑化

国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺的环境緑化、環境教育のフィールドの整備（樹木の植栽・芝生化、樹木の手入れ、ビオトープ等）を実施した。

- 事業名 学校環境緑化モデル事業（「ローソン緑の募金」寄付金の活用事業）
- ・長野市立信更小学校

6 その他

(1) 第67回全国植樹祭の開催支援

平成28年6月5日に開催される全国植樹祭で、みどりの少年団が着用する団服等86着を国土緑化推進事業の事業を導入し購入した。

(2) 国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小・中・高生より募集のあった作品223点の中から7点を長野県から推薦し、各県の推進作品を中央で審査された結果、平成28年度用次の2点が特選に選ばれた。

- ・国土緑化運動標語「夢托す 小さな苗に 大きな未来」（高2 山梨県）
- ・育樹運動標語 「育もう ゆたかな森と 地球の未来」（中2 鳥取県）

(3) 森の名手・名人の選定

（公社）国土緑化推進機構が選定する平成27年度「森の名手・名人」に長野県からは1名が選ばれ、県内の名手名人は49名となった。

| 氏名   | 年齢 | 市町村 | 部門   | 内容   |
|------|----|-----|------|------|
| 山岸公一 | 89 | 長野市 | 加工部門 | 経木生産 |

7 基本財産の運用益

当基金の資産管理運用規程の昨年度の改正に基づき、満期を迎えた10年国債を30年国債に運用替えをしたことなどにより、基本財産の運用益については、当初予算では受取利息収入を6,925,000円と見込んだが、決算額は7,427,807円となった。

8 出捐金の内訳

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| 平成27年度末     | 5億8,920万5,668円      |
| (前年度よりの増加額) | 8万0,000円            |
| 〈内訳〉        |                     |
| ・長野県        | 150,000,000円(25.5%) |
| ・市町村        | 123,000,000円(20.9%) |
| ・民間         | 316,205,668円(53.6%) |

## II 公一2 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めました。

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、4月29日には長野駅周辺、加えて善光寺御開帳に併せて5月11～14日に長野市中央通りで街頭募金を実施しました。また、緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに広報等を通じて緑の募金活動を積極的に進めました。

県内各位からの緑の募金経の寄附金は、各地区緑化推進団体や市町村をはじめ多くの関係者の御協力と県民各位の御理解をいただき、募金総額7,869万円余りで、対前年比99.3%となり、目標金額8千万円を下回る結果となりました。（詳細は別紙1、2のとおり）

県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などをさらに進めました。

緑の募金による公募事業を通じて、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援しました。

みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進しました。

平成28年に長野県で開催される第67回全国植樹祭の開催理念の目的を達成するため、全国植樹祭開催準備助成事業を実施しました。

### 1 緑の募金活動事業

#### (1) 緑化推進の啓発宣伝

##### ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑化推進特別強調月間」（4月1日～5月31日）中に「今植えた 小さなその芽が 大きな未来」を国土緑化運動標語にして行った。

- ・ 新聞広告掲載 4月1日他 6社掲載
- ・ 市町村広報誌への掲載
- ・ ラジオCM SBCラジオ 28回（3月31～4月13日）
- ・ ラジオカー SBCラジオ 1回
- ・ 街頭募金 4月29日（みどりの週間初日）  
5月11～14日（御開帳に併せ）
- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ
- ・ 長野トヨペットふれあいグリーンキャンペーン 5月15日

## イ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施した。

## (2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行った。

## (3) 募金活動の推進

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけつつ、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などの募金活動を県・市町村等行政機関、地区緑化推進団体、みどりの少年団等と連携し、展開した。

## 2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が自主的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を促進するため、「緑の募金」を活用した公募事業を運営協議会で内容を審査の上、21団体に3,765,468円を交付した。

## 3 緑化の推進等

### (1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成(交付金)した。

### (2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動、松くい虫予防活動等に助成(交付金)した。

### (3) 公園等公共施設の緑化

#### ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)した。

#### イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)した。

#### (4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)した。

#### (5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)した。

#### (6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)した。

#### (7) 第67回全国植樹祭の開催準備

平成28年に長野県で開催する全国植樹祭の成功を期するため、第67回全国植樹祭開催準備事業として、森林整備や緑化の推進活動への支援や開催準備のための資材等を購入する第67回全国植樹祭長野県実行委員会に対し、8,315,438+円の助成金を交付した。

### 4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かに健康で明るく育つよう、県内の175団のみどりの少年団が実施した森林・環境緑化等の学習実践活動に対し、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに地区事業として実施する実践活動に交付金を交付する。

また、長野県みどりの少年団交流集会を長野県、長野県みどりの少年団連盟と共催し、8月7日、塩尻市長野県林業総合センターで開催した。(参加者18団 101名)